

第59回（令和4年度）九州沖縄地区高専体育大会陸上競技における
新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

1. 参加者の体調の把握

- ① 少しでも体調の悪い選手およびチーム関係者は競技会への出場・参加を辞退させる。
- ② 大会1週間前からの体調管理及び検温し、指定の体調管理チェックシート（別途送付）へ記入する。
※担当校は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意し、大会終了後、1月間保管する。保管期間を過ぎた当該情報は、適正かつ速やかに廃棄するとともに、廃棄した証を保管する。
- ③ 大会主催者側へは、1日目、2日目それぞれの日に【提出用】と書かれた用紙を、受付（3階北入りロゲート TIC前）に提出する。
- ④ 当日の朝の体温が37.4℃以下であること。
- ⑤ 不確かな者は、その場で検温を実施し、状況によっては参加・入場を許可しない。
- ⑥ 大会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、診療所（かかりつけ医）に相談後、必ず担当校に報告すること。

2. 参加者が競技を行う際の留意点

1) 基本的注意事項

- ① 招集所では他の選手とはソーシャルディスタンスを確保し招集を受けること。
- ② 競技中に唾や痰を吐く行為は行わないこと。
- ③ タオルの共用はしないこと。タオルは各自で持参する。
- ④ 選手控所では、大声で会話等することのないよう注意し、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ⑤ 試合中などに選手が倒れた場合は直接触れることをせず、医務室や大会本部へ連絡する。ただし、緊急を要する場合は、手袋、マスク等防護体制を整えた競技役員が対応し医務員に引き渡す。（補助員には対応させない）

2) トラック競技

- ① レース中にマスクを着ける必要はないが、招集中・移動中・待機中は着用すること。マスク着用による熱中症にも注意をする。
- ② レース終了後、手洗い・洗顔を徹底すること。

3) フィールド競技

- ① 待機場所における選手同士のソーシャルディスタンスを確保する。
- ② 投てき器具については共用となるので、終了後の手洗い・洗顔を行う。また、競技中に不用意に手で顔を触らないよう注意する。
- ③ 助走練習、投てき練習時に並ぶときは、ソーシャルディスタンスを確保する。
- ④ 選手同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用すること。

4) ウォーミングアップ会場の配慮事項

- ① ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ② 競技者自身のみでウォーミングアップを行う。（付き添いは付けない）
- ③ ウォーミングアップ会場での観戦を禁止する。
- ④ 屋内練習場では原則として練習を認めない。激しい雨、雷雨等、補助競技場でのウォーミングアップが困難と主催者が判断した場合は、利用を可能とする。ただし、密集が予想されることから、より一層のソーシャルディスタンスの確保と屋内練習場からの観戦・応援は厳禁とする。

3. その他留意事項

1) マスク等の準備

各チームにおいて競技会参加者がマスクを準備しているか確認すること。また、紛失、破損によりマスク着用ができない事態が起きないように予備のマスクも各チームで準備しておく。参加者の受付、着替え、など運動・スポーツを行っていない間、特に会話するときには、マスクの着用を指示する。

2) 競技会の参加前後の留意点

競技会前後のミーティングなどで三つの密を避けること。
会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮すること。

3) 手洗いの実施

- ① 手洗いは、30秒以上行うこと。
- ② 手洗い後、手をふくために個人でタオルを準備すること。各自で準備し、共用しない。
- ③ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を各チームの陣地にも用意すること。
- ④ フィールド競技に出場する競技者は、競技終了後手洗い、洗顔を実施する。

4) 更衣室、休憩、待機スペースでの行動について

※R4年度えがおスタジアムの更衣室・シャワールームは利用不可とします

- ① 広さにゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室することがないようにすること。
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)を使用した場合は、こまめに手洗いもしくは消毒用アルコールでの手指消毒をすること。
- ④ 更衣室等では換気扇を常に回す。換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。更衣が終了したら速やかに退出すること。
- ⑤ シャワールームの使用を禁止する。

5) 洗面所

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー)を使用した場合は、こまめに手洗いをすること。
- ② トイレを使用した場合は、便器の蓋を閉めて汚物を流すこと。
- ③ 手洗いは、30秒以上行うこと。
- ④ 手洗い後、手をふくために個人でタオルを準備すること。
- ⑤ トイレが混んでいる場合は、指定の立ち位置を守り、距離を保つこと。また、トイレは複数あるので他を探して混雑を避けること。

6) 観客の管理

- ① 新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、保護者、家族、選手以外の友人などの応援者は、会場(競技場スタンド・選手控所)への入場を自粛してもらうこともある。
- ② 集団での応援は禁止、また応援者同士の距離を2mほど開ける(座席を1～2席ずつ空ける)。大声をだして応援しない。手拍子での応援は可。
- ③ えがおスタジアムへの入場口は3階北ゲート入口のみとなっている。各高専の学生、顧問教員、コーチは健康チェックシートにて体調の申告をして一括提出となっているが、保護者やOB・OG等、一般の来客者は、3階北ゲート入口の受付にて、当日の体温(検温)と連絡先の記入をしてもらう。

7) ごみの廃棄

- ① 各チームが出したごみは持ち帰ること。
- ② 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れ密閉すること。
- ③ ごみを回収する人は、手袋とマスクを着用すること。回収が終わったら必ず石鹸と流水で手を洗うこと。